

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 キッズの森第2

公表日 2025年3月25日

利用児童数 16

回収数 14

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	4		1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10	2		2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	2	1	4		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9	3		2		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	2				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13			1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	1				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	2				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	1				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	1		1	本当に色々と考えていただいていると思います。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	3	5	4	特に必要性を感じないため今のままでいいと思う。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13			1		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	1				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4		8	2		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	14					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	2	1			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	5		8	1	兄弟がいない為不明。	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	3		1			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13			1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	1		1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	2		3	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	2		5	認識ないだけだと思いますが、訓練の報告があると安心です。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	2		3	避難訓練etc.事業所の見える化が不十分な気がしています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11			3	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13	1			
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	1			とっても楽しみにしています。 とても楽しみにしています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	3			いつもありがとうございます。 子供の成長を感じることができています。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズの森第2		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 13日		令和7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 15日		令和7年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 11日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援等の疑問や質問などに対して職員同士がすぐにその議題・課題について話し合いが行えること。	話し合いがしやすい環境を作ることや支援員同士のチームワークを育み支援(療育)に対してスキルアップや向上心に繋げている。 時間帯が違うスタッフにも内容が変わらないよう口頭での引継ぎやミーティング以外にも連絡ノートなどの可視化された情報共有も同時に行っている。	共有した議題や課題などを振り返り新しい支援への取り組みを常に目指せるように支援の中で気になった点はすべて記録に残していきたい。
2	日々の活動(療育)に力を入れている。	活動前にはストレッチなどの運動を固定で組み込み、日々違う活動を取り入れたり、難易度をいくつか用意したりなどプログラムが固定化されないよう工夫している。 行事イベントに関しても他にはない視点で利用者が楽しめるように工夫している。	子どもたちの発達状況の違いを理解し個々に合わせた取り組みができるように支援計画や情報共有ができる機会を多く設ける。
3	こども達が通所を楽しみにしている	その日話した内容や出来事などできる限りで職員間で共有を行い少しでも楽しい気持ちで自宅まで帰れるように連携を行っている。	今後も引き続き児童が通所を楽しめるように様々なことに取り組み努めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか	放課後等デイサービスは児童発達支援に比べて児童の体が大きく体力もあり運動量も増すため、支援スペースが狭く感じてしまうことがある。施設内は決して狭いわけではないが、中学生や高校生が集まるタイミングやいっせいに児童が動いてしまうと狭く感じることもある。	施設の広さを広げることは現実的に難しいが、移動のタイミングや場所取り、玩具など物の配置の工夫を人数や体の大きさに合わせて行う。
2	保護者会やきょうだい同士の交流、地域住民との交流が少ない。	環境や時間の問題などがありなかなか難しい。	保護者やきょうだい同士の交流についてはクリスマス会を法人全体で開くことはしているが、その他地域住民との交流などは要望があれば考えていく。
3	非常時の対応に関する評価が低い	避難訓練の実施や緊急時等のマニュアルも作成されており常に公開・伝達を行ってはいるが、その情報開示や伝え方が弱く正しく認識されていない部分がある。	非常時の対応について定期的な取り組みの実施回数を増加させ情報共有を言葉だけではなく定期通信などで伝える必要性がある。